ともに生きる未来へ

step

vol. 30

創刊 30 周年記念号

変わった？変わらない？

ジェンダー平等この30年

だれもが もっと
生きやすい
社会のために

泉南市

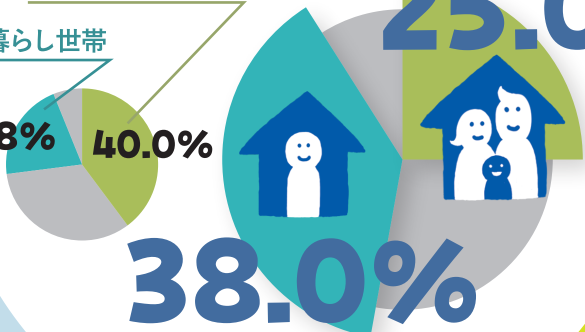
ジェンダー平等のあゆみ

「Step」創刊 30 周年の節目の年に、私たちの暮らしは
どう変わったのか、変わっていないのか、いっしょに考えてみましょう。

「こんなに変わった!」

1985年〜2020年

変化する家族の姿
「いまや、ひとり暮らしが多数派」



出典：令和 6 年版男女共同参画白書

夫婦同姓の制度に不便を感じる人や婚姻による改姓を望まない女性が増えるなど、選択的夫婦別姓制度の導入を求める声の高まりを受けて、国会での審議が進んでいます。

1985年〜2024年

「男は仕事、女は家庭の昭和モデル」から「だれもが家庭でも仕事でも活躍できる令和モデル」へ

共働き世帯数
718万世帯 → 1,222万世帯

専業主婦世帯
936万世帯 → 398万世帯

出典：令和 7 年版男女共同参画白書

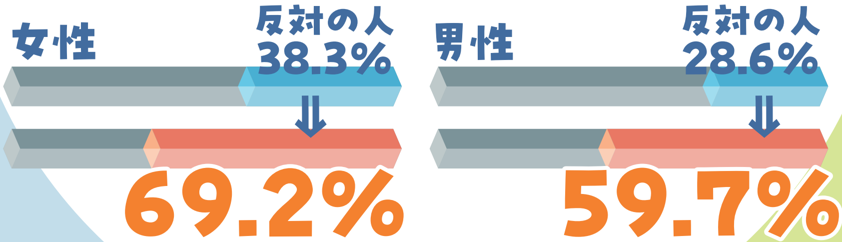
働く女性は増加していますが、女性の進出が少ない分野もみられます。建設業、運輸業、農林漁業など、あらゆる分野で女性が活躍できる社会をめざして、さまざまな取組が進められています。

トラガール TRUCKGIRL　農業女子PJ　海の宝！水産女子の元気プロジェクト

1992年〜2024年

性別役割分担に反対と思う人が多数派に

「男性は仕事、女性は家庭」に反対の人



出典：令和 7 年版男女共同参画白書

1979年
国連が女性差別撤廃条約採択

1985年
日本が女性差別撤廃条約批准

1986年
「男女雇用機会均等法」施行

1989年
家庭科の男女共修化

赤字：泉南市の取組　青字：国・府の取組

2004年
～
2023年

「男性も仕事も育児も」

男性の育児休業取得割合

(民間企業)0.8% ⇒ 30.1%

(国家公務員一般職)0.6% ⇒ 80.9%

出典：令和７年版男女共同参画白書

2011年
「泉南市男女平等参画推進条例」制定

泉南市トピックス
基本理念に「性同一性障害を有する人その他あらゆる人の人権の尊重」と性の多様性への配慮

2012年
「泉南市男女平等参画都市宣言」

2014年
「すべての女性が輝く社会づくり本部」設置

泉南市トピックス
2023年度 泉南市男性職員の育児休業取得率100％！！
（目標値25％以上）

2018年
「政治分野における男女共同参画推進法」施行

2020年
「大阪府パートナーシップ宣誓証明制度」開始

性の多様性 「LGBTのことを知っている」

2015年
～
2023年

37.6% ⇒ 80.6%

出典：「LGBTQ+ 調査 2023」（株式会社電通グループ）

※「LGBTとはセクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の総称のひとつということを知っている」の回答選択肢「そう思う」と「ややそう思う」の合計

性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性理解増進法制定（2023年）

泉南市トピックス
泉南市市民アンケート調査（2021年）では「LGBT」の言葉を知っている人が82.8％

2003年
せんなん男女共同参画ルーム（ステップ）開設

2001年
「ＤＶ防止法」施行

1999年
「男女共同参画社会基本法」施行

1997年
女性問題啓発冊子『Step（女と男がともに生きる未来へ）』発行

1995年
「せんなん女性プラン」策定

1995年
「育児・介護休業法」施行

1993年
「泉南市女性政策推進本部（本部長 市長）」設置

「変わらないことも…」

社会全体でみたときの男女の地位は「男性が優遇されている」と思う人

1995年
～
2024年

75.6%
74.7%

「女性だから、男性だから」といった思い込みをなくして、対等な立場で男女がともに社会を支える一員として行動していきましょう。

出典：男女共同参画に関する世論調査（平成７年・令和６年）（内閣府）

2022年
「第４次せんなん男女平等参画プラン」策定

2024年
「困難女性支援法」施行

減らないDV相談件数

暴力を許さず、だれもが安心して暮らせる社会を求めています。

2002年
～
2023年

35,943件 ⇒ 126,743件

出典：令和７年版男女共同参画白書
（配偶者暴力相談支援センターへの相談）

泉南市でも依然として低い女性の参画

様々な方針を決める場に男女が同等に参画することで、意見が反映されます。

2015年
～
2024年

泉南市審議会委員女性割合
21.1%⇒28.6%

泉南市管理職女性割合
13.3%⇒18.2%

出典：地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況（平成27年度・令和６年度）から泉南市のデータを取得

だれもが互いに尊重し合い、
自分の望む生き方を実現できる社会、
暴力のない社会をいっしょにつくっていきましょう。

農業の「沼」にハマって、広がる世界

農業女子PJ

interview

Vege Fru HOUSE Buu Fuu Uuu
泉南農業塾　塾長　立道 智恵さん

試行錯誤で自分らしい農業にチャレンジ

母と姉と私の三人で、「大自然の中の一軒家で作物を育てながら暮らすスローライフ」のイメージでつけた名前は「ブーフーウー」。そんな軽い気持ちで始めた農業に今はハマっているという立道さん。
週末農業をしていた祖父の小さな畑を譲り受けて、農業を始めたのは17年前。姉と二人で、面白いことを楽しくやろうをモットーに始めたものの、品種を絞って大規模栽培している近隣農家には対抗できないと知り、当時は珍しかった西洋野菜づくりに挑戦。栽培方法を一から勉強し、試行錯誤しながら、一時は200品種もの「多品種少量」栽培を行っていたとか。耕作面積も見る間に増えていきました。
ネットやイベント販売を続けるうちに、少しずつ固定のお客様が増えていき、今は約40品種を厳選して栽培しています。有機JAS規格で定められた適合資材を活用し、農薬に頼らず育てた野菜に入れる「生産者カード」にもこだわるのは、丹精込めた野菜を自信を持って届けたいという気持ちから。

めざすのは、夢を持って農業をやりたい人を育てる環境づくり

農業委員の活動を通じて、同じ市内でも山手と海側では土壌が違うことや、地域で熱い思いを持つ農業者がいることに初めて気づいたという立道さん。農地の保護・管理、担い手への農地集積などを行い「農地の番人」と言われる農業委員の仕事の重要性を改めて知り、農業に対する視野が広がったと話します。
農業委員のほかにも新規就農者を育成する「農業塾」での指導や農業女子プロジェクトなど、活動が広がるほどに農業を通じて様々な人との出会いが生まれます。10人いたら10通りの生き方と夢があり、そうした人のサポートをしながら人と人をつなぐことで、自分の心が豊かになると感じています。少しでも農業に関心を持っている人に伴走して、一緒に夢を追いかけることが楽しいと笑って話してくれました。

「泉南市女性活躍推進プロジェクト」

泉南市では「女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」にもとづき、令和3年に泉南市働き方改革・女性活躍推進プロジェクトチームを発足しました。その後、同チームの提言を受けて、時差勤務の導入や男性ばかり、女性ばかりの職場の廃止などに取り組みました。

令和6年からは月1回のランチミーティングを開催して、働きやすい職場についての意見交換や仕事と家庭の両立、先輩職員のキャリア形成についての話など、世代や部局を超えた職員が集まり交流を深めています。

相談窓口　ひとりで悩まず相談してください。秘密は守られます。

●女性相談

女性カウンセラーがあなたの立場にたってサポートします。

せんなん男女平等参画ルーム相談室
第1金曜日／13:00～17:00、第2火曜日／16:00～20:00、第4金曜日／10:00～12:00、13:00～15:00
※要電話予約。都合の良い日を申し込んでください。
TEL 072-480-2855（人権推進課）

●女性のための電話相談

女性相談員が電話でお聴きいたします。

せんなん男女平等参画ルーム相談室
毎週木曜日（祝日と第5木曜日を除く）
10:00～12:00、13:00～15:00
TEL 072-482-0590

●人権相談

日常生活で起こりうる人権問題の解決に向けた手助けをします。

市民交流センター
月曜日～土曜日（祝日除く、土曜日は要予約）／9:00～17:30
（一社）泉南市人権協会
TEL 072-485-1401

発行／泉南市行政経営部人権推進課
〒590-0521 泉南市樽井9-16-2（市民交流センター内）電話072-480-2855

令和7年12月